



黒崎中学校

認知症 SOS 見守り発見訓練

① 安心おかえりシールについて講義

② 6つのグループに分かれ訓練
(生徒一人一人が声をかける)

倉敷市
安心おかえり
シール



6月19日(水)「安心おかえりシール」と「認知症の方への声かけ」について、高齢者支援センターの方から講義と見守り発見訓練を受けました。

認知症の方が迷子になっていた時に、「安心おかえりシール」が洋服等に付いていたら、そのQRコードをスマホで読み取ることで、発見した場所などの情報を伝えることができ、家族につなぐことができるものです。「認知症の方への声かけの7つのポイント」を覚えてもらい、6つのグループに分かれて声かけの訓練です。

3人の高齢者役の方が、学校敷地内にいることを伝えました。まず発見し、生徒による声かけ、教員のスマホでQRコードの読み取り、情報発信などをしていきます。最初は簡単に考えていた生徒も、いざ高齢者役の方を前にすると、少し距離を置き、何を話していいのかとしどろもどろ。でも勇気を出して声をかけはじめると、少しずつ緊張がほぐれ、会話になってきました。スマホでQRコードを読み取る教員も、最初は勝手が分からずでしたが、情報を伝えることで無事に家族へつなぐことができました。

声かけの7つのポイント

- ・まずは、見守る
- ・余裕をもって対応する
- ・声をかける人は1人で
- ・後ろから声をかけない
- ・相手の目線に合わせて、優しい口調で
- ・穏やかに、はっきりとした話し方で
- ・相手の言葉に耳を傾ける



最後に全体で集まって、感想を話しました。

生徒からは、実際に声をかけるのは緊張したけど、目線を合わせるだけでも話しやすくなった。やさしい口調の声かけで、心がつながる感じになった。スマホで読み取ることで、家族へつなげることができることを学んだ。地域とふれあう機会が多いので、話すことが大切だと分かった。

高齢者役の方からは、中学生でもできることがあり、本当にやさしい声かけがありがたかった。実際に地域で困っている方がいれば、遠慮なく同じような声かけをお願いしたい。



中学生が積極的に動いている様子を、取材に来ていた「玉テレ」の方がほめていました。「知らない方であったかも知れませんが、積極的に声かけをしているのを見て、さすがだなと思いました。最後にTV向けに代表生徒にインタビューしましたが、しっかりとした内容で感心しました」

(このようは、6/21の玉テレニュースで放送予定。また「黒崎放送局」としても特番を組む予定。ご期待ください。)